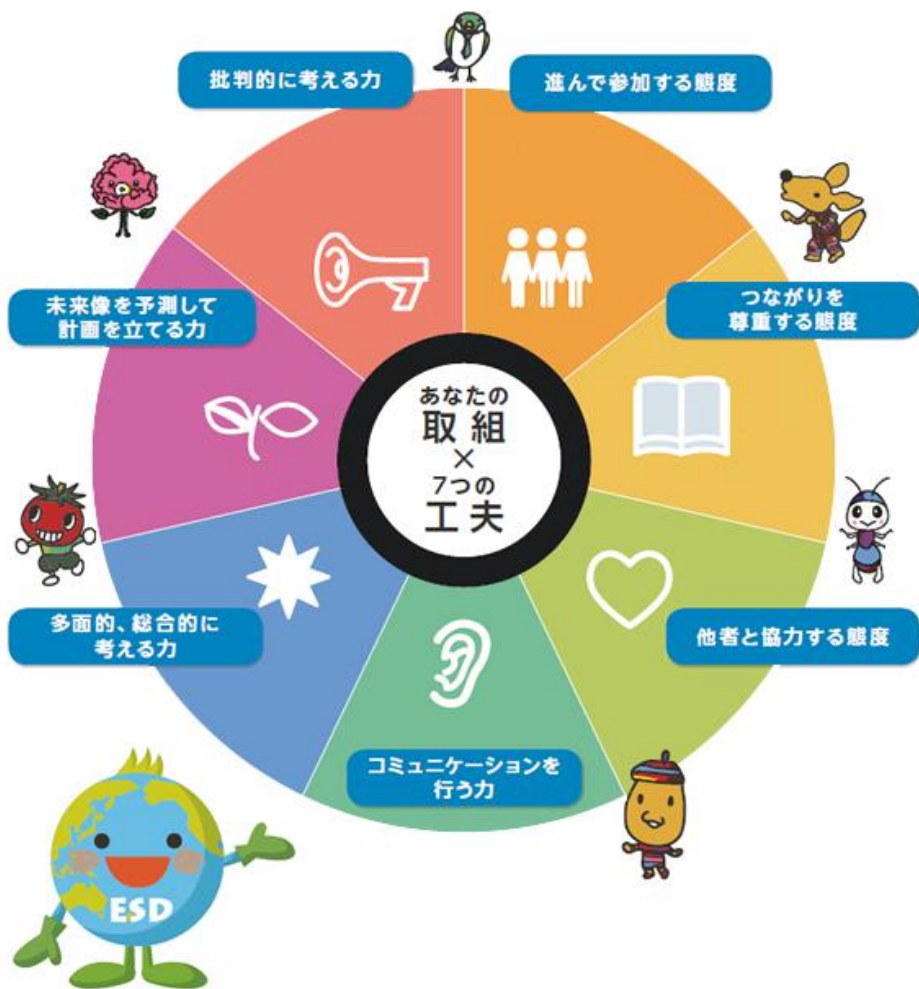


現実に直面する課題の発見・探究・解決の過程で、自らが持続可能な社会づくりに関する価値観を身に付け、自らの意思を決定し、行動を変革して行くことができるようになるには、以下のような能力・態度を身に付けることが必要です。本校ではこれらの能力・態度と本校のESDで育みたい3つの能力・態度との関連を図りました。



### 進んで参加する態度

集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度

⇒ 1



### つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度

⇒ 2



### 他者と協力する態度

他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度

⇒ 3



### コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力

⇒ 4



### 多面的、総合的に考える力

人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力

⇒ 5



### 未来像を予測して計画を立てる力

過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、物事を計画する力

⇒ 6



### 批判的に考える力

合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協動的、代替的に施行・判断する力

⇒ 7

